

事業番号

2023

-

文科

-

22

-

0230

		令和5年度行政事業レビューシート				(文部科学省)	
事業名	理科教育等設備整備費補助等			担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者
事業開始年度	昭和29年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	教育課程課		教育課程課長 常盤木 祐一
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	理科教育振興法(昭和28年法律第186号)第9条			関係する 計画、通知等	第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日 閣議決定) 第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日 閣議決定) 統合イノベーション戦略2023(令和5年6月9日 閣議決定)		
政策	8 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-1 科学技術イノベーションを担う人材力の強化						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-03.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	科学的な思考力・判断力・表現力の育成のためには、理科教育における観察・実験の充実が不可欠であり、そのために観察・実験にかかる理科設備の充実、観察・実験の指導に注力できる環境の整備等を目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	・我が国の子供たちの理科関係の学力は国際的に見て高水準である一方、理科に対する興味関心は中学校になると国際平均を大きく下回る。子供たちの興味関心を高めながら理科教育の充実を図るためには、いわゆる講義型の授業だけでなく観察・実験を行いながら学習を進めることが不可欠である。 ・実験等に必要な設備は一定期間で老朽化するのが必然であり、適時に更新しなければならない。さらに、昨今の教師の厳しい学習環境の中で、学校によっては人的な面からのサポートがない場合には、観察・実験を十分に実施できない可能性がある。						
事業概要 (5行程度以内)	・理科教育振興法に基づいて、公・私立学校の設置者に対して、理科設備、算数・数学設備を整備するために必要な経費の一部を補助する。(補助率1/2、沖縄にあっては3/4) ・公・私立学校の設置者に対して、小学校、中学校における理科の観察・実験に使用する設備の準備・調整等を行う補助員として、観察実験アシスタントを配置するために必要な経費の一部を補助する。(補助率1/3)						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/rikasansuu/index.htm						
実施方法	直接実施、補助						
補助率等	1/2(沖縄にあっては3/4)、1/3						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	1,912	1,912	1,912	1,912	2,042
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	1,912	1,912	1,912	1,912	2,042	
	執行額(G)		1,863	1,831	1,851		
	執行率(%) =(G)/(F)		97%	96%	97%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		97%	96%	97%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究振興費			教師が指導に注力できる環境を整備し、観察・実験を充実させるため、観察実験アシスタントを配置するために必要な経費を増額(要望額)。 重要政策推進枠 326百万円		
	(目)	理科教育設備整備費等補助金	1,912	2,042			
	(目)	職員旅費	0	0			
		その他	▲ 0	▲ 0			
	計(A)		1,912	2,042			

活動内容① (アクティビティ)		「理科教育振興法」に基づいて、公・私立の小・中・高等学校等の設置者に対し、理科教育等設備の整備に要する経費の一部を補助。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		理科教育等設備整備費補助の補助対象 学校数増加による学習指導要領に対応した 理科教育等設備の整備	補助対象学校数	活動実績	件	－	－	11,033	－	－
				当初見込み	件	－	－	11,046	11,033	11,033
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	理科教育等設備整備費補助を活用して理科教育等設備の整備を行った学校数が増えることにより、学習指導要領に対応した理科教育等設備が充実し、実験観察の幅が広がるため実験・観察を中心とした科学的に探究する学習活動が充実する。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		理科の授業における実験・観察を中心とした科学的に探究する学習環境の充実	小学校における、補助金要綱で定める理科教育設備の品目の整備率	成果実績	%	－	－	57.5	－	
				目標値	%	－	－	60	60	
				達成度	%	－	－	95.8	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度「理科教育設備の整備状況に関する調査」								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	実験・観察を中心とした科学的に探究する活動が十分に行えるような学習環境が整備された結果、児童生徒が自ら考えて実験・観察活動を行うような充実した指導を行うことができる。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		各学校における理科の実験・観察活動の指導の充実	児童に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」小学校の割合	成果実績	%	－	－	37	－	
				目標値	%	－	－	40	45	
				達成度	%	－	－	92.5	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:27.5%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	充実した指導による観察・実験活動を児童生徒が行うことにより、学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに対する技能」といった知識及び技能が身に付く。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに対する技能」といった知識及び技能を身に付ける。	全国学力・学習実施状況調査における小学校理科の「知識・技能」を問う問題の正答率	成果実績	%	－	－	62.6	－	
				目標値	%	－	－	60	65	
				達成度	%	－	－	104.3	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		「理科教育振興法」に基づいて、公・私立の小・中・高等学校等の設置者に対し、理科教育等設備の整備に要する経費の一部を補助。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		理科教育等設備整備費補助の補助対象 学校数増加による学習指導要領に対応し た理科教育等設備の整備【再掲】	補助対象学校数【再掲】	活動実績	件	－	－	11,033	－	－
				当初見込み	件	－	－	11,046	11,033	11,033
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	理科教育等設備整備費補助を活用して理科教育等設備の整備を行った学校数が増えることにより、学習指導要領に対応した理科教育等設備が充実し、実験観察の幅が広がるため実験・観察を中心とした科学的に探究する学習活動が充実する。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		理科の授業における実験・観察を中心とした科学的に探究する学習環境の充実【再掲】	小学校における、補助金要綱で定める理科教育設備の品目の整備率【再掲】	成果実績	%	－	－	57.5	－	
				目標値	%	－	－	60	60	
				達成度	%	－	－	95.8	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度「理科教育設備の整備状況に関する調査」								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	実験・観察を中心とした科学的に探究する活動が十分に行えるような学習環境が整備された結果、児童が自ら考えて実験・観察活動を行うような充実した指導を行うことができる。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		各学校における理科の実験・観察活動の指導の充実【再掲】	児童に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」小学校の割合【再掲】	成果実績	%	－	－	37	－	
				目標値	%	－	－	40	45	
				達成度	%	－	－	92.5	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:27.5%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	児童生徒が自ら考えて実験・観察を行うことで、学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「科学的に探究する力」といった思考力・判断力・表現力が身に付く。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「科学的に探究する力」といった思考力・判断力・表現力を身に付ける。	全国学力・学習実施状況調査における小学校理科の「思考力・判断力・表現力」を問う問題の正答率	成果実績	%	－	－	63.8	－	
				目標値	%	－	－	65	70	
				達成度	%	－	－	98.2	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

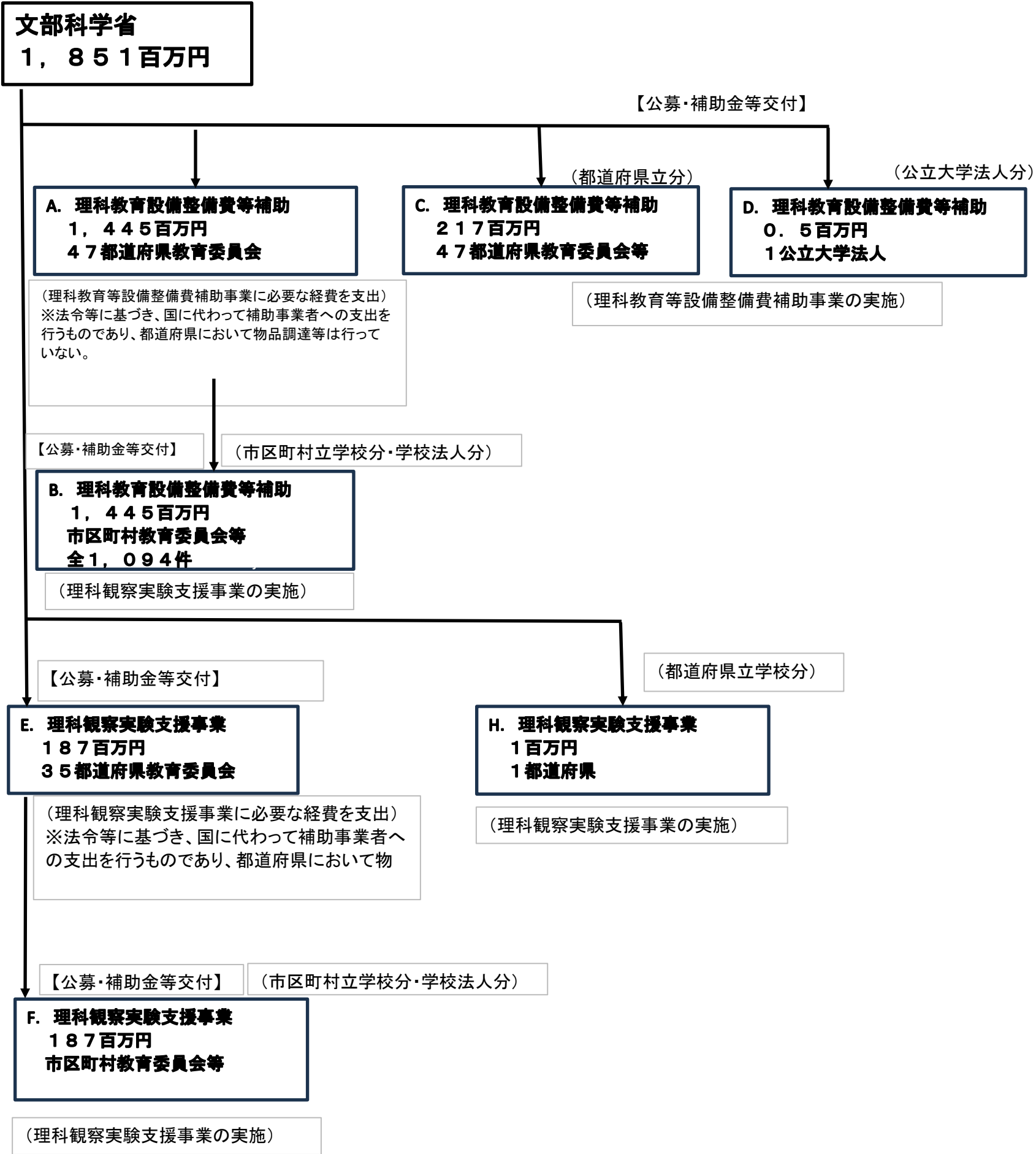
活動内容③ (アクティビティ)		「理科教育振興法」に基づいて、公・私立の小・中・高等学校等の設置者に対し、理科教育等設備の整備に要する経費の一部を補助。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		理科教育等設備整備費補助の補助対象 学校数増加による学習指導要領に対応し た理科教育等設備の整備【再掲】	補助対象学校数【再掲】	活動実績	件	－	－	11,033	－	－
				当初見込み	件	－	－	11,046	11,033	11,033
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	理科教育等設備整備費補助を活用して理科教育等設備の整備を行った学校数が増えることにより、学習指導要領に対応した理科教育等設備が充実し、実験観察の幅が広がるため実験・観察を中心とした科学的に探究する学習活動が充実する。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		理科の授業における実験・観察を中心とした科学的に探究する学習環境の充実【再掲】	小学校における、補助金要綱で定める理科教育設備の品目の整備率【再掲】	成果実績	%	－	－	57.5	－	
				目標値	%	－	－	60	60	
				達成度	%	－	－	95.8	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度「理科教育設備の整備状況に関する調査」								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	実験・観察を中心とした科学的に探究する活動が十分に行えるような学習環境が整備された結果、児童が自ら考えて実験・観察活動を行うような充実した指導を行うことができる。								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		各学校における理科の実験・観察活動の指導の充実【再掲】	児童に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」小学校の割合【再掲】	成果実績	%	－	－	37	－	
				目標値	%	－	－	40	45	
				達成度	%	－	－	92.5	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:27. 5%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
↓	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	講義型の授業だけでなく児童生徒が自ら実験・観察活動を行うことにより、理科に対する興味関心が高まる。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		理科に対して興味・関心を持つ子供の増加	小学校において、理科の勉強は好きかとの質問に「当てはまる」と回答した児童の割合	成果実績	%	－	－	49.4	－	
				目標値	%	－	－	50	55	
				達成度	%	－	－	98.8	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:52. 6%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容④ (アクティビティ)		「理科教育振興法」に基づいて、公・私立の小・中・高等学校等の設置者に対し、理科教育等設備の整備に要する経費の一部を補助。								
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		理科教育等設備整備費補助の補助対象 学校数増加による学習指導要領に対応し た理科教育等設備の整備【再掲】	補助対象学校数【再掲】	活動実績	件	－	－	11,033	－	－
				当初見込み	件	－	－	11,046	11,033	11,033
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	理科教育等設備整備費補助を活用して理科教育等設備の整備を行った学校数が増えることにより、学習指導要領に対応した理科教育等設備が充実し、実験観察の幅が広がるため実験・観察を中心とした科学的に探究する学習活動が充実する。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		理科の授業における実験・観察を中心とした科学的に探究する学習環境の充実	中学校における、補助金要綱で定める理科教育設備の品目の整備率	成果実績	%	－	－	54.4	－	
				目標値	%	－	－	60	60	
				達成度	%	－	－	90.7	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		令和4年度「理科教育設備の整備状況に関する調査」								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	実験・観察を中心とした科学的に探究する活動が十分に行えるような学習環境が整備された結果、生徒が自ら考えて実験・観察活動を行うような充実した指導を行うことができる。								
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		各学校における理科の実験・観察活動の指導の充実	生徒に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」中学校の割合	成果実績	件	－	－	24.7	－	
				目標値	件	－	－	25	30	
				達成度	%	－	－	98.8	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度：18. 3%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
↓	成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	充実した指導による観察・実験活動を児童生徒が行うことにより、学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに対する技能」といった知識及び技能が身に付く。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに対する技能」といった知識及び技能を身に付ける。	全国学力・学習実施状況調査における中学校理科の「知識・技能」を問う問題の正答率	成果実績	%	－	－	46.4	－	
				目標値	%	－	－	45	50	
				達成度	%	－	－	103.1	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容⑤ (アクティビティ)		「理科教育振興法」に基づいて、公・私立の小・中・高等学校等の設置者に対し、理科教育等設備の整備に要する経費の一部を補助。								
↓										
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		理科教育等設備整備費補助の補助対象 学校数増加による学習指導要領に対応し た理科教育等設備の整備【再掲】	補助対象学校数【再掲】	活動実績	件	－	－	11,033	－	－
				当初見込み	件	－	－	11,046	11,033	11,033
↓	成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	理科教育等設備整備費補助を活用して理科教育等設備の整備を行った学校数が増えることにより、学習指導要領に対応した理科教育等設備が充実し、実験観察の幅が広がるため実験・観察を中心とした科学的に探究する学習活動が充実する。								
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		理科の授業における実験・観察を中心とした科学的に探究する学習環境の充実【再掲】	中学校における、補助金要綱で定める理科教育設備の品目の整備率【再掲】	成果実績	%	－	－	54.4	－	
				目標値	%	－	－	60	60	
				達成度	%	－	－	90.7	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度「理科教育設備の整備状況に関する調査」								
↓	成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	実験・観察を中心とした科学的に探究する活動が十分に行えるような学習環境が整備された結果、生徒が自ら考えて実験・観察活動を行うような充実した指導を行うことができる。								
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		各学校における理科の実験・観察活動の指導の充実【再掲】	児童に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」中学校の割合【再掲】	成果実績	%	－	－	24.7	－	
				目標値	%	－	－	25	30	
				達成度	%	－	－	98.8	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度：18. 3%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
↓	成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	児童生徒が自ら考えて実験・観察を行うことで、学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「科学的に探究する力」といった思考力・判断力・表現力が身に付く。								
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「科学的に探究する力」といった思考力・判断力・表現力を身に付ける。	全国学力・学習実施状況調査における中学校理科の「思考力・判断力・表現力」を問う問題の正答率	成果実績	%	－	－	51.3	－	
				目標値	%	－	－	50	55	
				達成度	%	－	－	102.6	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等		名称		-																					
		URL		-																					
		該当箇所		-																					
事業所管部局による点検・改善																									
点検結果		各事業年度ごとに各事業者から提出される事業実施計画書及び事業完了報告書等において、各事業者における支出先・用途を把握し、経費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。また、必要に応じて個別に問い合わせる追加書類を求める等、各事業者における支出先・用途の把握に努めている。																目標年度における効果測定に関する評価（令和8年度実施）							
																		-							
改善の方向性		引き続き補助金の効率的且つ適正な執行に努める。																							
外部有識者の所見																									
外部有識者による点検対象外																									
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																									
現状通り		この事業はおおむね計画通りに予算執行されたものと考えられるが、さらなる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。																							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																									
執行等改善		事業の成果や実施状況をしっかりと把握しつつ、積算単価の見直しも含め、引き続き効率的かつ適正な事業の執行に努める。																							
過去に受けた指摘事項と対応状況		公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																							
		【令和4年度公開プロセスにおける主な指摘】 ・事業の効果および成果指標、ロジックモデルについて、理振法の目的に基づいた事業の目的に沿ったアウトカムの見直しが必要。 ・事業による取組の有無、取組の事前事後といった形で、事業設計と調査・評価設計のデザインを行うことが必要。 ・子供たちの理科への関心・関心、さらには、科学リテラシーが向上するというロジックの検討が必要。																							
		上記への対応状況																							
		・ロジックモデル、レビューシートについて、事業の目的に沿ったアウトプット、アウトカムとなるよう、補助事業の執行が理科の授業の量と質の充実に関係し、子供たちの理科への関心・関心の向上につながるといったような見直しを行った。 ・理科教育設備整備のアウトプットについては、昨年度までは「補助事業者数」としていたが、本年度より、「設備整備を行った学校数」を設定した。 ・そのほか指摘も踏まえ、事業のより効果的な執行に向けて、補助事業者における効果的な取組の把握・普及等に努めている。																							
		その他の指摘事項																							
		-																							
		上記への対応状況																							
-																									
備考																									
-																									
関連する過去のレビューシートの事業番号																									
平成23年度	132																								
平成24年度	140																								
平成25年度	183																								
平成26年度	181																								
平成27年度	171																								
平成28年度	199																								
平成29年度	207																								
平成30年度	204																								
令和元年度	文部科学省	-			0195																				
令和2年度	文部科学省				0197																				
令和3年度	2021	文科		20	0210																				
令和4年度	2022	文科		21	0211																				

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	補助金	理科教育設備整備費等補助金の支出	138	補助金	理科教育設備整備費等補助金の実施	41
	計		138	計		41
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	補助金	理科教育設備整備費等補助金の実施	22	補助金	理科教育設備整備費等補助金の実施	0.5
	計		22	計		0.5
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	補助金	理科教育設備整備費等補助金の支出	36	補助金	理科教育設備整備費等補助金の実施	21
	計		36	計		21
	G.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	補助金	理科教育設備整備費等補助金の実施	1			
	計		1	計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東京都	8000020130001	理科教育設備整備費等補助金の支出	138	補助金等交付	-	-	-
2	愛知県	1000020230006	理科教育設備整備費等補助金の支出	117	補助金等交付	-	-	-
3	埼玉県	1000020110001	理科教育設備整備費等補助金の支出	83	補助金等交付	-	-	-
4	千葉県	4000020120006	理科教育設備整備費等補助金の支出	72	補助金等交付	-	-	-
5	神奈川県	1000020140007	理科教育設備整備費等補助金の支出	60	補助金等交付	-	-	-
6	北海道	7000020010006	理科教育設備整備費等補助金の支出	59	補助金等交付	-	-	-
7	兵庫県	8000020280003	理科教育設備整備費等補助金の支出	58	補助金等交付	-	-	-
8	沖縄県	1000020470007	理科教育設備整備費等補助金の支出	53	補助金等交付	-	-	-
9	大阪府	4000020270008	理科教育設備整備費等補助金の支出	49	補助金等交付	-	-	-
10	茨城県	2000020080004	理科教育設備整備費等補助金の支出	44	補助金等交付	-	-	-
B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	名古屋市	3000020231002	理科教育設備整備費等補助金の実施	41	補助金等交付	-	-	-
2	豊田市	5000020232114	理科教育設備整備費等補助金の実施	26	補助金等交付	-	-	-
3	横浜市	3000020141003	理科教育設備整備費等補助金の実施	19	補助金等交付	-	-	-
4	札幌市	9000020011002	理科教育設備整備費等補助金の実施	19	補助金等交付	-	-	-
5	京都市	2000020261009	理科教育設備整備費等補助金の実施	19	補助金等交付	-	-	-
6	足立区	2000020131211	理科教育設備整備費等補助金の実施	13	補助金等交付	-	-	-
7	神戸市	9000020281000	理科教育設備整備費等補助金の実施	11	補助金等交付	-	-	-
8	那須塩原市	8000020092134	理科教育設備整備費等補助金の実施	9	補助金等交付	-	-	-
9	大阪市	6000020271004	理科教育設備整備費等補助金の実施	8	補助金等交付	-	-	-
10	上田市	2000020202037	理科教育設備整備費等補助金の実施	8	補助金等交付	-	-	-

活動内容⑥ (アクティビティ)		「理科教育振興法」に基づいて、公・私立の小・中・高等学校等の設置者に対し、理科教育等設備の整備に要する経費の一部を補助。								
↓										
活動目標及び活動実績 ⑥ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		理科教育等設備整備費補助の補助対象学校数増加による学習指導要領に対応した理科教育等設備の整備【再掲】	補助対象学校数【再掲】	活動実績	件	－	－	11,033	－	－
				当初見込み	件	－	－	11,046	11,033.	11,033
↓	成果目標⑥-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	理科教育等設備整備費補助を活用して理科教育等設備の整備を行った学校数が増えることにより、学習指導要領に対応した理科教育等設備が充実し、実験観察の幅が広がるため実験・観察を中心とした科学的に探究する学習活動が充実する。								
成果目標及び成果実績 ⑥-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		理科の授業における実験・観察を中心とした科学的に探究する学習環境の充実【再掲】	中学校における、補助金要綱で定める理科教育設備の品目の整備率【再掲】	成果実績	%	－	－	54	－	
				目標値	%	－	－	60	60	
				達成度	%	－	－	90.7	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度「理科教育設備の整備状況に関する調査」								
↓	成果目標⑥-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	実験・観察を中心とした科学的に探究する活動が十分に行えるような学習環境が整備された結果、生徒が自ら考えて実験・観察活動を行うような充実した指導を行うことができる。								
成果目標及び成果実績 ⑥-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		各学校における理科の実験・観察活動の指導の充実【再掲】	生徒に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」中学校の割合【再掲】	成果実績	%	－	－	25	－	
				目標値	%	－	－	25	30	
				達成度	%	－	－	98.8	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度：18. 3%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
↓	成果目標⑥-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	充実した指導による観察・実験活動を生徒が行うことにより、学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに対する技能」といった知識及び技能が身に付く。								
成果目標及び成果実績 ⑥-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		理科に対して興味・関心を持つ子供の増加	中学校において、理科の勉強は好きかとの質問に「当てはまる」と回答した生徒の割合	成果実績	%	－	－	32	－	
				目標値	%	－	－	35	40	
				達成度	%	－	－	92.3	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度：30. 0%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ⑥について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ⑥についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容⑦ (アクティビティ)		公・私立の設置者に対して、理科の補助員(観察実験アシスタント(PASEO))の配置に要する経費の一部を補助する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ⑦ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		理科観察実験支援事業の補助対象学校数増加による、各学校における観察、実験の準備、補助等を行う観察実験アシスタントの配置	観察実験アシスタントの配置 校数	活動実績	件	2,612	2,673	2,620	-	-	
				当初見込み	件	2,878	2,612	2,673	2,620	2,800	
↓	成果目標⑦-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	観察実験アシスタントの配置により、苦手意識を持つ教員であっても観察実験を行うことができる。									
成果目標及び成果実績 ⑦-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験回数の増加	観察や実験をする授業を1クラスあたり「週1回以上行った」と回答した小学校の割合	成果実績	%	-	-	45	-		
				目標値	%	-	-	65	70		
				達成度	%	-	-	69.1	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:61.1%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
↓	成果目標⑦-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	観察実験の量が増えたこと、観察実験アシスタントにより教員負担が軽減したことからより指導に注力できるようになる。									
成果目標及び成果実績 ⑦-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験の指導の充実	PASEO配置校のうち、児童に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」小学校の割合	成果実績	件	-	-	60	-		
				目標値	件	-	-	60.	65.		
				達成度	%	-	-	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		理科教育設備整備費等補助金実績報告書/実績一覧									
↓	成果目標⑦-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	充実した指導による観察・実験活動を児童が行うことにより、学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに対する技能」といった知識及び技能が身に付く。									
成果目標及び成果実績 ⑦-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度		
		学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに対する技能」といった知識及び技能を身に付ける。【再掲】	全国学力・学習実施状況調査における小学校理科の「知識・技能」を問う問題の正答率【再掲】	成果実績	%	-	-	63	-		
				目標値	%	-	-	60.	65.		
				達成度	%	-	-	104.3	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑦について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ⑦についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

活動内容⑧ (アクティビティ)		公・私立の設置者に対して、理科の補助員(観察実験アシスタント(PASEO))の配置に要する経費の一部を補助する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ⑧ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		理科観察実験支援事業の補助対象学校数増加による、各学校における観察、実験の準備、補助等を行う観察実験アシスタントの配置【再掲】	観察実験アシスタントの配置 校数【再掲】	活動実績	件	2,612.	2,673.	2,620.	-	-	
				当初見込み	件	2,878.	2,612.	2,673	2,620	2,800	
↓	成果目標⑧-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	観察実験アシスタントの配置により、苦手意識を持つ教員であっても観察実験を行うことができる。									
成果目標及び成果実績 ⑧-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験回数の増加【再掲】	観察や実験をする授業を1クラスあたり「週1回以上行った」と回答した小学校の割合【再掲】	成果実績	%	-	-	45	-		
				目標値	%	-	-	65	70		
				達成度	%	-	-	69.1	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:61.1%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
↓	成果目標⑧-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	観察実験の量が増えたこと、観察実験アシスタントにより教員負担が軽減したことからより指導に注力できるようになる。									
成果目標及び成果実績 ⑧-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験の指導の充実【再掲】	PASEO配置校のうち、児童に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」小学校の割合【再掲】	成果実績	件	-	-	60	-		
				目標値	件	-	-	60	65		
				達成度	%	-	-	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		理科教育設備整備費等補助金実績報告書/実績一覧									
↓	成果目標⑧-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	児童が自ら考えて実験・観察を行うことで、学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「科学的に探究する力」といった思考力・判断力・表現力が身に付く。									
成果目標及び成果実績 ⑧-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度		
		学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「科学的に探究する力」といった思考力・判断力・表現力を身に付ける。【再掲】	全国学力・学習実施状況調査における小学校理科の「思考力・判断力・表現力」を問う問題の正答率【再掲】	成果実績	%	-	-	64	-		
				目標値	%	-	-	65	70		
				達成度	%	-	-	98.2	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑧について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ⑧についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

活動内容⑨ (アクティビティ)		公・私立の設置者に対して、理科の補助員(観察実験アシスタント(PASEO))の配置に要する経費の一部を補助する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ⑨ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		理科観察実験支援事業の補助対象学校数増加による、各学校における観察、実験の準備、補助等を行う観察実験アシスタントの配置【再掲】	観察実験アシスタントの配置 校数【再掲】	活動実績	件	2,612	2,673	2,620	-	-	
				当初見込み	件	2,878.	2,612.	2,673.	2,620.	2,800	
↓	成果目標⑨-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	観察実験アシスタントの配置により、苦手意識を持つ教員であっても観察実験を行うことができる。									
成果目標及び成果実績 ⑨-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験回数の増加【再掲】	観察や実験をする授業を1クラスあたり「週1回以上行った」と回答した小学校の割合【再掲】	成果実績	%	-	-	45	-		
				目標値	%	-	-	65	70		
				達成度	%	-	-	69.1	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:61.1%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
↓	成果目標⑨-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	観察実験の量が増えたこと、観察実験アシスタントにより教員負担が軽減したことからより指導に注力できるようになる。									
成果目標及び成果実績 ⑨-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験の指導の充実【再掲】	PASEO配置校のうち、児童に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」小学校の割合【再掲】	成果実績	件	-	-	60	-		
				目標値	件	-	-	60	65		
				達成度	%	-	-	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		理科教育設備整備費等補助金実績報告書/実績一覧									
↓	成果目標⑨-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	講義型の授業だけでなく児童が自ら実験・観察活動を行うことにより、理科に対する興味関心が高まる。									
成果目標及び成果実績 ⑨-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度		
		理科に対して興味・関心を持つ子供の増加【再掲】	小学校において、理科の勉強は好きかとの質問に「当てはまる」と回答した児童の割合【再掲】	成果実績	%	-	-	49	-		
				目標値	%	-	-	50	55		
				達成度	%	-	-	98.8	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:52.6%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑨について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ⑨についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

活動内容⑩ (アクティビティ)		公・私立の設置者に対して、理科の補助員(観察実験アシスタント(PASEO))の配置に要する経費の一部を補助する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ⑩ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		理科観察実験支援事業の補助対象学校数増加による、各学校における観察、実験の準備、補助等を行う観察実験アシスタントの配置【再掲】	観察実験アシスタントの配置校数【再掲】	活動実績	件	2,612	2,673	2,620	－	－	
				当初見込み	件	2,878.	2,612.	2,673.	2,620.	2,800	
↓	成果目標⑩-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	観察実験アシスタントの配置により、苦手意識を持つ教員であっても観察実験を行うことができる。									
成果目標及び成果実績 ⑩-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験回数の増加	観察や実験をする授業を1クラスあたり「週1回以上行った」と回答した中学校の割合	成果実績	%	－	－	46	－		
				目標値	%	－	－	65	70		
				達成度	%	－	－	70.5	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:64.6%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
↓	成果目標⑩-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	観察実験の量が増えたこと、観察実験アシスタントにより教員負担が軽減したことからより指導に注力できるようになる									
成果目標及び成果実績 ⑩-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験の指導の充実	PASEO配置校のうち、生徒に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」中学校の割合	成果実績	%	－	－	60	－		
				目標値	%	－	－	60	65		
				達成度	%	－	－	100	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		理科教育設備整備費等補助金実績報告書/実績一覧									
↓	成果目標⑩-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	充実した指導による観察・実験活動を生徒が行うことにより、学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに対する技能」といった知識及び技能が身に付く。									
成果目標及び成果実績 ⑩-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度		
		学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに対する技能」といった知識及び技能を身に付ける。【再掲】	全国学力・学習実施状況調査における中学校理科の「知識・技能」を問う問題の正答率【再掲】	成果実績	%	－	－	46	－		
				目標値	%	－	－	45	50		
				達成度	%	－	－	103.1	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑩について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ⑩についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

活動内容⑥ (アクティビティ)		公・私立の設置者に対して、理科の補助員(観察実験アシスタント(PASEO))の配置に要する経費の一部を補助する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ⑥ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		理科観察実験支援事業の補助対象学校数増加による、各学校における観察、実験の準備、補助等を行う観察実験アシスタントの配置【再掲】	観察実験アシスタントの配置校数【再掲】	活動実績	件	2,612	2,673	2,620	-	-	
				当初見込み	件	2,878.	2,612	2,673	2,620.	2,800	
↓	成果目標⑥-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	観察実験アシスタントの配置により、苦手意識を持つ教員であっても観察実験を行うことができる。									
成果目標及び成果実績 ⑥-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験回数の増加【再掲】	観察や実験をする授業を1クラスあたり「週1回以上行った」と回答した中学校の割合【再掲】	成果実績	%	-	-	46	-		
				目標値	%	-	-	65	70		
				達成度	%	-	-	70.5	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:64.6%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
↓	成果目標⑥-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	観察実験の量が増えたこと、観察実験アシスタントにより教員負担が軽減したことからより指導に注力できるようになる。									
成果目標及び成果実績 ⑥-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験の指導の充実【再掲】	PASEO配置校のうち、生徒に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」中学校の割合【再掲】	成果実績	%	-	-	60	-		
				目標値	%	-	-	60	65		
				達成度	%	-	-	100	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		理科教育設備整備費等補助金実績報告書/実績一覧									
↓	成果目標⑥-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	生徒が自ら考えて実験・観察を行うことで、学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「科学的に探究する力」といった思考力・判断力・表現力が身に付く。									
成果目標及び成果実績 ⑥-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度		
		学習段階ごとに理科の学習指導要領において育成を目指している「科学的に探究する力」といった思考力・判断力・表現力を身に付ける。【再掲】	全国学力・学習実施状況調査における中学校理科の「思考力・判断力・表現力」を問う問題の正答率【再掲】	成果実績	%	-	-	51	-		
				目標値	%	-	-	50	55		
				達成度	%	-	-	102.6	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
アウトカム設定についての説明		アクティビティ⑥について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ⑥についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

活動内容⑦ (アクティビティ)		公・私立の設置者に対して、理科の補助員(観察実験アシスタント(PASEO))の配置に要する経費の一部を補助する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ⑦ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		理科観察実験支援事業の補助対象学校数増加による、各学校における観察、実験の準備、補助等を行う観察実験アシスタントの配置【再掲】	観察実験アシスタントの配置校数【再掲】	活動実績	件	2,612	2,673	2,646	-	-	
				当初見込み	件	2,878	2,612	2,673	2,646	2,800	
↓	成果目標⑦-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	観察実験アシスタントの配置により、苦手意識を持つ教員であっても観察実験を行うことができる。									
成果目標及び成果実績 ⑦-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験回数の増加【再掲】	観察や実験をする授業を1クラスあたり「週1回以上行った」と回答した中学校の割合【再掲】	成果実績	%	-	-	46	-		
				目標値	%	-	-	65	70		
				達成度	%	-	-	70.5	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:64.6%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
↓	成果目標⑦-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	観察実験の量が増えたこと、観察実験アシスタントにより教員負担が軽減したことからより指導に注力できるようになる。									
成果目標及び成果実績 ⑦-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		各学校における理科の観察、実験の指導の充実【再掲】	PASEO配置校のうち、生徒に対し、自ら考えた予想や仮説をもとに実験・観察の計画を立てることができるような指導を「よく行った」中学校の割合【再掲】	成果実績	%	-	-	60	-		
				目標値	%	-	-	60.	65.		
				達成度	%	-	-	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		理科教育設備整備費等補助金実績報告書/実績一覧									
↓	成果目標⑦-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	講義型の授業だけでなく生徒が自ら実験・観察活動を行うことにより、理科に対する興味関心が高まる。									
成果目標及び成果実績 ⑦-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度		
		理科に対して興味・関心を持つ子供の増加【再掲】	中学校において、理科の勉強は好きかとの質問に「当てはまる」と回答した生徒の割合【再掲】	成果実績	%	-	-	32	-		
				目標値	%	-	-	35.	40.		
				達成度	%	-	-	92.3	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		全国学力・学習状況調査 ※3年ごとに理科を実施する際に調査を実施(前回は平成30年度:30.0%)。本来、令和3年度に調査を予定していたが中止となったため、1年後倒しとなり令和4年度に実施。									
アウトカム設定についての説明		アクティビティ⑦について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ⑦についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									